

ALL JAPAN EV-GP SERIES 2020 ROUND 2

10th Anniversary

第2戦 | 全日本 筑波 EV 50kmレース大会

2020年6月21日(日) 雨天決行 筑波サーキット

主催: 日本電気自動車レース協会 (JEVRA)

大会後援: 東京中日スポーツ



災害用
充電車

T救号

普段はEV充電車、緊急時には電源車に!!

～仕様により様々なアジャストが可能です～



■車両スペック

車両	日野デュトロ(N04C)
搭載発電機	HMG (hybrid magnetic generator) × 3基
発電機搭載箇所	追加コンプレッサー取付部×1基・フライホイールPTO部×2基
発電機出力容量	DC300V—50A 15kVA (発電機1基あたり)
搭載バッテリー	東芝製 SCiB 2P12S × 10 個直列
バッテリー容量	DC300V—40A 12kVA
Total 出力容量	DC300V—190A 57kVA (発電機3基+バッテリー)
搭載充電器	DCJ503D4AUF(デルタ電子製)・True-G50(Milla-E50 菊水電子工業製)
出力電圧	DC12V / DC24V / DC300V / AC100V / AC200V(3φ) ※出力電圧は仕様により任意に変更可能

東洋電産株式会社

東洋電産株式会社 千本工場
静岡県沼津市千本緑町3丁目13
TEL:055-962-5085

日本電気自動車レース協会(JEVRA)は 様々な活動を行っております!!



JAPAN ELECTRIC VEHICLE RACE ASSOCIATION

地球温暖化防止の対策

→ EVレースを通じて地球温暖化防止の推進を行います

EVレースの開催

→ EVレースを通して製品開発の“場所”の提供を致します

“日本初”のEV公道レースの開催企画

→ 地球環境保護と地方創生のお手伝いを致します

高速安全運転スクールの開催

→ レースからのフィードバックをスキルアップにご活用下さい

各種EV関連パーツの開発

→ EVレースで鍛えた技術の提供を致します

EVスーパーカーの開発/製作

→ 貴社製品のアピールにご活用下さい

移動充電サポートの実施(急速充電器 & 普通充電器)

→ イベント会場等に出張致します

電気の地産地消の推進事業の構築

→ EV普及による電力不足への対応策のご提案

自然エネルギーの活用(太陽光/風力/水力等)

→ 自然エネルギーによる電力供給のご提案

jevra.jp

トランスミッションを 自社で製作する技術力

Shigehara Ink.

高性能歯車加工技術

3D 加工技術

検査・測定技術

繁原製作所では、オーダー1台からあらゆる車両に向けたミッションの製作が可能です。全ての工程(設計・生産・検査)を弊社で一貫して行うことで、お客様の部品の生産を、試作・小ロットから対応することができます。また、当社が保有する加工技術を駆使し、自社開発の電気自動車(EV)実証実験車両による航続距離テストやEVサーキット走行を通じて技術向上に努めています。JEVRAが開催する全日本EVレース大会において、シリーズチャンピオンを3年連続で獲得しました。

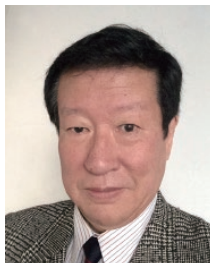


2020 ALL JAPAN EV-GP SERIES ROUND.2

全日本 筑波 EV 50Kmレース大会

MESSAGE

開催のご挨拶



日本電気自動車レース協会 (JEVRA)

理事長 **水野 雅男**
Masao Mizuno

2010年3月に設立してお陰様で10周年目を迎えました日本電気自動車レース協会 (JEVRA) は、[地球環境問題に対する意識改革]の推進および[電気自動車 (EV) の進化・普及促進]を目指して、電気自動車 (EV) レースを筑波サーキットで開催いたします。

JEVRAは、一刻も早く解決していかなければならない地球環境問題を「EVレース」を通じてエコロジー (ECO) の推進と、最良のEVの開発のスピードを速めるための「Proving Ground (開発・実証の場): レース」の提供で、微力ながらお手伝いをさせていただきます。

現在の素晴らしいクルマは、日本では約50年前にスタートしたモータースポーツフィールドで誕生し、磨き抜かれ、自動車技術へのフィードバックは「レース場」から生まれたと言っても過言ではありません。

将来、日本発のカッコいい世界一のEVが産まれるべく、開発・実証の場を提供して参りますので、まだまだ「揺籃期」のEVですが、趣旨ご賛同いただき、広くご支援を賜りたくお願い申し上げます。

また、今大会は世界中で猛威を振るっております新型コロナウイルス感染の対策を可能な限り行い開催致しますのでご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2020 CALENDAR

第1戦	5月30日(土)	50km	袖ヶ浦フォレストレースウェイ/千葉県
第2戦	6月21日(日)	50km	筑波サーキット/茨城県
第3戦	7月5日(日)	50km	スポーツランドSUGO/宮城県
第4戦	8月9日(日)	55km	筑波サーキット/茨城県

第5戦	9月12日(土)	55km	袖ヶ浦フォレストレースウェイ/千葉県
第6戦	10月4日(日)	60km	筑波サーキット/茨城県
第7戦	11月14日(土)	50km	富士スピードウェイ/静岡県

TIME SCHEDULE

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
参加受付 (C/T 2F)		EV 45 15'								
車両検査 (車検場)		EV 30'								
公式予選			EV 40 15'	55						
充電		急速充電器/普通充電 (P2 バドック)								
スタート進行									EV 10 10'	
決勝									EV 10 25Laps	40
暫定表彰式 (VIPルーム)										EV 15 15'

※タイムスケジュールは天候その他の理由により変更になる場合がありますので予めご了承下さい。

ORGANIZATION

- 開催日 令和2年6月21日(日)
- 会場 筑波サーキット/茨城県
- レース距離 50km (2.045km×25周)
- 主催 日本電気自動車レース協会 (JEVRA)
- 組織 理事長 水野 雅男
理事 舘 信秀
理事 田嶋 伸博
理事/事務局長 富沢 久哉
- 大会協賛 株式会社ブリヂストン
住友ゴム工業株式会社
横浜ゴム株式会社
東洋電産株式会社
株式会社繁原製作所
- 特別会員 電気自動車普及協議会 (APEV)
EVオーナーズクラブ (EVOC)

- 大会後援 東京中日スポーツ
株式会社ブリヂストン
住友ゴム工業株式会社
横浜ゴム株式会社
大和リース株式会社
日本道路株式会社
東洋電産株式会社
株式会社繁原製作所
株式会社交通タイムス社
株式会社日本ヴェーテック
株式会社トムス
株式会社アクセル
(敬称略/順不同)
- JEVRA 賛助会員



日本電気自動車レース協会 (JEVRA)
〒157-0067 東京都世田谷区喜多見 2-6-30
株式会社 M&T プランニング内
TEL.03(6411)0092

[プログラム]
デザイン: Tecmag

安心感で選ぶなら ウェット「a」

雨の日に「a」と「c」では、こんなに違う。



ウェットグリップ性能グレードが違くと、雨の日の制動距離が変わります。

雨に強いウェット性能「a」ラインアップ



YOKOHAMA



2020 ALL JAPAN EV-GP SERIES ROUND.2

全日本 筑波 EV 50Kmレース大会

ENTRY LIST

エントリー：参加15台

No.	ドライバー	クラス	車 名	電池 / 容量	モーター出力	タイヤ	エントラント	代表者
0	千葉 栄二	EV-1	TAISAN UP TESLA S	Li/85kWh	193kW/375kW	YH	Team TAISAN	千葉 泰常
1	地頭所 光	EV-1	TAISAN 東大 UP TESLA 3	Li/75kWh	360kW	DL	Team TAISAN 東大	千葉 泰常
2	木村 龍祐	EV-1	TAISAN UP TESLA RS	Li/53kWh	215kW	YH	Team TAISAN	千葉 泰常
3	廣瀬 浩明	EV-3	RED LEAF	Li/40kWh	110kW	BS	廣瀬浩明	廣瀬 浩明
6	大野 博美	EV-3	Auction Direct LEAF	Li/40kWh	110kW	DL	ONO RACING	大野 博美
7	金子 高志	EV-2	ブルースイッチ@リーフ	Li/62kWh	160kW	YH	くるまのニュース & KUNISAWA.NET	国沢 光宏
10	小野津 博之	EV-1	だるいテスラ	Li/75kWh	360kW	BS	だるいテスラ	小野津 博之
18	石井 昌道	EV-R	TokyoNextSpeed eパワー	-	80kW	BS	Tokyo Next Speed	石井 昌道
19	藤田 広一	EV-R	9thチャレンジノート e-POWER	-	80kW	YH	ロンリーレーシング	藤田 広一
28	飯倉 雅彦	EV-C	ウエルマー☆ビルズ☆EVミラ	Li/32kWh	135kW	DL	ウエルマー(株)	繁原 秀孝
33	TAKAさん	EV-1	適当LifeアトリエModel3	Li/75kWh	360kW	YH	スエヒロRC	鈴木 淳
39	金沢 秀好	EV-C	ウエルマー☆ビルズ☆FT86EV	Li/36kWh	145kW	DL	ウエルマー(株)	繁原 秀孝
55	廣瀬 多喜雄	EV-R	ノート e-Power Nismo S	-	100kW	BS	オイラクレーシング	廣瀬 多喜雄
72	金井 亮忠	EV-F	チームNATS日本自動車大学校・ミライ	-	113kW	BS	日本自動車大学校	金井 亮忠
88	レーサー鹿島	EV-2	東洋電産・LEAFe+	Li/62kWh	160kW	YH	東洋電産株式会社	伊藤 晃

[クラス] EV-1=モーター出力201kW以上 / EV-2=151kW以上201kW未満 / EV-3=101kW以上151kW未満 / EV-4=101kW未満 / EV-C=市販車改造(出力自由) / EV-F=燃料電池車両(FCV) / EV-R=レンジエクステンダー / EV-P=プロトタイプ
[タイヤ] BS=ブリヂストン / DL=ダンロップ / YH=ヨコハマ [電池] Li=リチウムイオン電池

POINT RANKING

	順位	氏 名	Rd.1 袖ヶ浦	Rd.2 筑波	Rd.3 SUGO	Rd.4 筑波	Rd.5 袖ヶ浦	Rd.6 筑波	Rd.7 富士	TOTAL
総合	1	地頭所 光	20							20
	2	TAKAさん	15							15
	3	千葉 栄二	12							12
	4	石井 昌道	10							10
	5	廣瀬 浩明	8							8
	6	廣瀬 多喜雄	6							6
	7	大野 博美	4							4
	8	木村 龍祐	3							3

クラス	順位	氏 名	Rd.1 袖ヶ浦	Rd.2 筑波	Rd.3 SUGO	Rd.4 筑波	Rd.5 袖ヶ浦	Rd.6 筑波	Rd.7 富士	TOTAL
EV-1	1	地頭所 光	20							20
	2	TAKAさん	15							15
	3	千葉 栄二	12							12
	4	木村 龍祐	10							10
EV-3	1	廣瀬 浩明	20							20
	2	大野 博美	15							15
EV-R	1	石井 昌道	20							20
	2	廣瀬 多喜雄	15							15

1位:20point/2位:15point/位:12point/4位:10point/5位:8point/6位:6point/7位:4point/8位:3point/9位:2point/10位:1point

※同点の場合は優勝回数の多い順/2位以下も同等とするが、それでも同点の場合は最終戦の順位が上位者を優先とする。

事故のない 毎日をつくりたい。

ダンロップがつくっているのは、タイヤです。

でも、タイヤを通していちばんつくりたいものは、

交通事故のない今日、そして明日。

どんな道でも、どんな時でも

安全で安心な未来のタイヤを目指す

SMART TYRE CONCEPT とともに、

この世界から交通事故をなくしたい。

難しいことです。でも、あきらめたくない。

わたしたちは本気です。

どんな道でも、

どんな時でも。



© 藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK

0120-39-2788 <https://tyre.dunlop.co.jp/>

大切な人を守るため、**タイヤの空気圧チェック**をよびかけています。
空気入りタイヤを実用化したダンロップの責任だから。

SMART TYRE CONCEPT
スマート タイヤ コンセプト

 **DUNLOP**

2020 ALL JAPAN EV-GP SERIES ROUND.2

全日本 筑波 EV 50Kmレース大会

環境に優しい 電気自動車(EV)レース

2010年にスタートして10周年目を迎えた「日本電気自動車レース協会(JEVRA)」が主催する“地球環境”に優しいモータースポーツがEVレースだ。走行中の二酸化炭素(CO2)の排出をゼロにし、地球温暖化を抑える優しいEVレースは、これからの新しいモータースポーツとして世界中で注目されている。新しい時代を牽引するEVを「レース」というフィールドで競い合うことにより互いの性能を鍛え上げて技術開発のスピードアップと市販車へのフィードバックを目的にEV-GPシリーズは開催される。第2戦は15台によるバトルが筑波サーキットを舞台に50Kmレース(25周)で行われる!!

EVによる 8クラスによる戦い

EV-GPシリーズは、全部で8クラスに分かれて戦いが行われる。EV市販車クラスは、駆動モーター最大出力によって4クラスに分かれる。2020年から市販車クラスのモーター出力が変更になった。総合優勝に一番近いのが、EV-1クラスで201kW以上の特斯拉モデルS、モデル3、ジャガーなどだ。EV-2クラスは、151kW以上201kW未満で今回の対象車種は日産リーフe+ (160kW)のみとなる。EV-3クラスが101kW以上151kW未満で日産リーフ(110kW)が対象車種となる。

EV-4クラスは101kW未満で、旧型リーフ(80kW)、i-MiEV(46kW)やスマートEV(55kW)だ。市販車のエンジンをモーターに転換したEV-C(コンバート)クラス(出力自由)と、開発もしくはレース専用に製作されたEV-P(プロトタイプ)クラス(出力自由)がある。EV-Fクラスは燃料電池車(FCV)と、“エンジンで発電する”EV-R(レンジエクステンダークラス)の走りに注目したい。以上の8クラスがそれぞれのクラスで勝負を競い合うことになる。

「第2戦」筑波ラウンドの見所

EV-1 クラス

モーター出201kW以上

2020年の開幕戦の勝者で昨年のチャンピオン地頭所光特斯拉モデル3、最終戦でデビューウィンを飾った小野津博之モデル3と新たにモデル3で参戦の開幕戦2位のTAKAさんがどのようなレース展開を見せるかに注目だ!! また、特斯拉ロードスターを操る木村龍祐と開幕戦で3位に入った昨年のチャンピオンカーのモデルSを操る千葉英二の存在も侮れない。



EV-2 クラス

モーター出151kW以上
201kW未満

今シーズンからクラスが変わった日産リーフe+だが、昨年の実績から総合優勝争いに絡んでくる事が予想される。昨年のEV-3クラスのチャンピオンのレーサー鹿島が満を持してe+でのデビューレースをどのような展開を見せるかに注目だ!! また、金子高志e+がどんな走りを見せるか期待したい!



EV-3 クラス

モーター出力101kW以上
151kW未満

今年からは日産リーフ(110kW)がe+とクラスが別れたのでリーフ同士の争いも見ものだ。昨年のチャンピオン廣瀬浩明と大野博美の争いだが廣瀬の連覇が達成出来るかに注目したい!



EV-4 クラス

モーター出力101kW未満

今までは“軽自動車”クラスだったが今年からは色々な車種のクラスバトルがみられるのでバラエティに富んだ車種の登場が楽しみだ!



EV-C クラス

市販車にモーターと
バッテリーに変換した車両

EV-C(コンバート)クラスは、市販車ベースのエンジンをモーターとLiバッテリーに変換させ「EV」に改造した車両による争いになるが、金沢秀好FT86EVと飯倉正彦ミラEVだが、総合優勝争いにどこまで食い込めるかに期待したい!!



EV-F クラス

燃料電池車両

水素を燃料とした燃料電池(FCV)車両のクラスだが、昨年のチャンピオン金井亮忠MIRAIの走りに注目したい!



EV-R クラス

レンジエクステンダー

レンジエクステンダーは“エンジンで発電する”新しい発想の車両だ。このクラスの対象は、BMW i3 REXと日産ノート e-POWERの2車種となるが、今回は昨年のチャンピオン石井昌道と藤田広一のe-POWERと初参戦のNISMO Sを操る廣瀬多喜雄の争いに注目だ!



EV-P クラス

開発車両もしくは
レース専用車両

開発車両/レース専用車両のクラスだが、“未来のEV開発”の為に、カーメーカーからの参戦を期待したい!



2020 ALL JAPAN EV-GP SERIES

2020年 全日本 電気自動車グランプリ シリーズ競技規則〈抜粋〉

【競技規則書の制定】

日本電気自動車レース協会（以下JEVRAと称す）は、地球温暖化防止の推進と電気自動車産業発展および優秀な人材育成のために開催する「全日本 電気自動車グランプリ シリーズ競技規則書」（以下本規則と称す）を制定し、JEVRAが行う全ての電気自動車レース（以下EV レースと称す）に適用する。

【シリーズ名称】

日本語表記 2020 全日本 電気自動車 グランプリ シリーズ
英語表記 2020 ALL JAPAN EV-GP SERIES

【大会日程および名称】

第1戦	2020年5月30日(土)	全日本 袖ヶ浦 EV 50Km レース大会
第2戦	2020年6月21日(日)	全日本 筑波 EV 50Km レース大会
第3戦	2020年7月5日(日)	全日本 SUGO EV 50Km レース大会
第4戦	2020年8月9日(日)	全日本 筑波 EV 55Km レース大会
第5戦	2020年9月12日(土)	全日本 袖ヶ浦 EV 55Km レース大会
第6戦	2020年10月4日(日)	全日本 筑波 EV 60Km レース大会
第7戦	2020年11月14日(土)	全日本 富士 EV 50Km レース大会

【ドライバー】

第1項 参加資格

- レース当日に有効な普通自動車運転免許証を所持者。
- 参加サーキットにおけるコースフラッグの意味を全て理解している者。
- 本規則の内容を全て理解していること。また、大会関係者の指示に従うことのできる者。
- 20歳未満のドライバーは保護者の承認を必要とし、その証として参加申込書の該当欄に保護者の自筆署名、捺印(実印)を受けて提出すること。
- 上記以外でJEVRAが認めたもの。

【ピットクルー】

競技に参加することを許されるピットクルーは満18歳以上の者に限られる。競技参加に関連して起こった死亡、負傷および災害の責はすべて各自がJEVRAに迷惑を掛ける事無く自己処理すること。

【保険】

ドライバーおよびピットクルーは競技に有効な保険に加入していること。

ドライバーは1000万円以上、ピットクルーはそれぞれ500万円以上の保険に加入しなければならない。既に加入済のものは、その旨を定められた書式によって申告するものとし、加入保険金額が上記の額に満たない者はその不足分について必ず保険に加入しなければならない。

【ドライバーおよびピットクルーの遵守事項】

第1項 規則の周知と遵守

本規則ならびに競技会ごとに定められた諸規定を熟知し、これを遵守するとともにオフィシャルの指示に従って競技会の秩序の維持に協力しなければならない。

【参加車両規定】

第1項 動力

- 動力はモーターとする。
- モーターの形式は自由とする。但し、製造会社および型式の申告は義務付ける。

第2項 作動

- 作動はバッテリー(電池)のみで行うこと。(EV-Rは除く)
- 作動のバッテリー(電池)の形式は自由とする。但し、製造会社、型式および容量の申告は義務付ける。

第3項 駆動の方法は自由とする。

第4項 車輪の数は4輪までとする。

第5項 駆動輪の数は、自由とする。

- 車両の各寸法(サイドミラー及び牽引フックは除く)は以下のサイズ(値)を超えてはならない。市販車クラスはサイズ内であっても車体形状をはみ出す追加の突起物は認められない。
1. 全長:6m 2. 全幅:2m 3. 全高:2m

第7項 タイヤ

- 使用タイヤは、JEVRAに「登録認定」した次のタイヤメーカーのみ使用できる。
①株式会社ブリヂストン社製 ②住友ゴム工業株式会社製 ③横浜ゴム株式会社製 ※上記以外のタイヤメーカー製の使用は、JEVRAに登録申請をしなければならない。
- 使用タイヤは、レース専用タイヤ(スリックタイヤ及びレーシンググレンタイヤ)を除き自由とする。
- 使用タイヤの本数は自由とする。
- 上記以外にJEVRAが特別に認めたタイヤメーカー製。

第8項 市販車クラスの最低車両重量は車検証に記載した重量の2%減までとする。既定重量以下の場合にはバラストを固定して積載しなければならない。また、車両重量計の無い開催サーキットは測定しない場合もある。

第9項 最大車両重量は制限を設けない。

第10項 座席数の確保

市販車クラス(EV-1/2/3/4/F/R)は、車両検証記載の乗車定員の座席数を確保しなければならない。但し、4点式以上のロールバーを装着した車両は後部座席の取外しを認める。

第11項 車両検査証の所持

全ての市販車クラスは車両検査証を所持しなければならない。

【参加クラス】

- EV-1クラス：市販車クラス(モーター最大出力201kW以上)
- EV-2クラス：市販車クラス(モーター最大出力151kW以上201kW未満)
- EV-3クラス：市販車クラス(モーター最大出力101kW以上151kW未満)
- EV-4クラス：市販車クラス(モーター最大出力101kW未満)
- EV-Cクラス：コンパクトクラス(エンジンをモーターに換装した車両)
- EV-Pクラス：プロトタイプ・クラス(開発車両/レース専用車両)
- EV-Fクラス：市販車クラス(FCV=燃料電池車クラス)
- EV-Rクラス：市販車クラス(レンジエクステンダー/発電をエンジンで行う車両)

【ドライバーの安全遵守事項】

第1項 ドライバーの装備は、不燃レーシングスーツ、不燃アンダーウェア、不燃シューズ、不燃グローブの装着を推奨する。ヘルメットはフルフェイス型またはジェット型を推奨する。

第2項 競技に適した健康状態で参加し、競技中は常にお互いの安全を考慮した協調的マナーのもとに自己の技量とコースの状態に適した競技速度で操縦し、危険とみなされる行為があってはならない。

第3項 レース中、予選中を問わず、故意に規定の走路から外れたリコーナをショートカットしたりして走行することは禁止される。ただし、オフィシャルの誘導の下に行うことはこの限りではない。

第4項 走路は必ず定められた方向に走行し、いかなる場合も逆方向に走行してはならない。ただし安全上オフィシャルの誘導の下に行う場合はこの限りではない。

【車両に関する安全規定】

第1項 参加車両は充分安全なロールバーを装着しなければならない。ロールバーを装着しない車両は、ドライバーおよびチーム監督の誓約書の提出をもって許可をする場合がある。(EV-Cクラス及びEV-Pクラスは義務付ける)

第2項 シートベルトは4点式以上の装着を義務付ける。
4点式以上のシートベルトを装着しない車両は、ドライバーおよびチーム監督の誓約書の提出をもって許可をする場合がある。

第3項 電気装置器具の全ての部分において、車体と通電する構成要素の間には、最小限の絶縁抵抗をなければならない。また、電流の通じる全ての部分には、偶発的接触に備えた防護が施されなくてはならない。十分な物理的抵抗を持たない素材(塗装コーティング、エナメル塗料、酸化物、ファイバーコーティング類)、および絶縁テープは認められない。
車体ならびに安全構造体だけでなく伝導性を有するシャシーフレームも、車両(シャシー)のアースに接続しなくてはならず、かつシステム(電子機器)のアースからは絶縁されていなければならない。

【車両検査】

第1項 競技に参加する車両およびドライバーは、指定された時間までに、必要書類、ドライバー装備(EV-Rクラスは、不燃レーシングスーツ、不燃アンダーウェア、不燃シューズ、不燃グローブ、不燃マスク、フルフェイス型ヘルメットの装備を義務付ける)および参加車両を車両検査場または指定された場所で公式車両検査とドライバー装備品検査を受けなければならない。

第2項 検査を受けない車両およびドライバー、または検査の結果、不適当と判断された車両およびドライバーは予選、決勝のいずれにも出場できない。

第3項 JEVRAは検査の結果、不適当と判断した場合について修正を命ずることができる。

第4項 車両検査でJEVRAより指摘された箇所の修正を命じられた場合は再度の車両検査を受けなければならない。従わない場合は、如何なる出走を拒否することができる。

第5項 如何なる車両も、安全上の理由からスタートを禁止される場合がある。

第6項 車両検査を通過した如何なる車両であっても、随時JEVRAの指示に従い予選、決勝のいずれも出走を拒否される場合がある。

【予選方式】

公式予選は次の方法で行う。

第1項 タイムトライアル方式

一定時間に任意に走行し、記録されたベストラップタイムにより決勝グリッド順位を決定する。

【スタート】

スタート位置は、すべてのドライバーが正規のスタートラインからスタートするものとし、各ドライバーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップは一切考慮されない。

第1項 スタート方式

定められたグリッドについて静止状態から発進するスタンディングスタートを原則とするが、天候等の状況により、これ以外のスタート方式を取る場合もある。

第2項 スターティンググリッド

スターティンググリッドは、スタッガードフォメーションとする。スターティンググリッドに着くことができなかった車両のグリッドはそのまま空席とし、他の車両はグリッド上の各々の車両の位置を保持しなければならない。
グリッドの定数は開催サーキットの定めた台数とする。尚、非出走者のグリッドは空席とする。

第3項 スタート方法

スプリントレースは定められたグリッドについて静止状態から発進するスタンディングスタートとする。

【禁止事項】

1. バッテリー(電池) 充電の禁止

如何なる車両もグリッド上および決勝スタート後のバッテリー(電池)の充電は禁止される。但し、主催者の指示がある場合は、この限りではない。

2. EV-Fクラス(燃料電池車両)は、如何なる車両もグリッド上および決勝スタート後の水素の補填は禁止される。

第3項 バッテリー(電池) 交換の禁止

如何なる車両もグリッド上および決勝スタート後のバッテリー(電池)の交換は禁止される。但し、主催者の指示がある場合は、この限りではない。

第4項 車両のバッテリー(電池)は、法令に従った資格所持者以外が触れてはならない。

第5項 水素の補填は、法令に従った資格所持者以外が触れてはならない。

【レースの一時停止】

JEVRAが天候上の理由、あるいはその他の理由からレースの中断を決定した場合はコントロールラインにおいて赤旗を掲示し、これと同時に各マーシャルポストでは赤旗振動で掲示する。走行中の車両は直ちにスローダウンし、グリッド上で停止し、ピットクルーは車両に触れてはならない。

レースの中断の場合、次のとおり区分される。

1. 先頭のドライバー、および先頭のドライバーと同じ周回数走っていた残りのドライバー全員がレース距離20%未満の走行の場合、当該レースは無効とされ、新たにレースが行われる。

レースの再スタートが不可能な場合、このレースは中止と宣言される。

2. 先頭のドライバー、および先頭のドライバーと同じ周回数走っていた残りのドライバー全員がレース距離20%以上50%未満の走行の場合、当該レースは完了したとみなされ、ポイントは1/2が与えられる。(小数点以下四捨五入)

3. 先頭のドライバー、および先頭のドライバーと同じ周回数走っていた残りのドライバー全員が本来のレース距離50%以上(小数点以下切り捨て)を走行の場合、当該レースは完了したとみなされ、ポイントは100%与えられる。

【赤旗中断されたレースの再スタート】

競技結果がレース距離20%未満の場合の再スタートのグリッドポジションは本来のレースと同じとし、レース距離が20%以上の場合は赤旗で中断した周囲の1周前の通過順位でグリッドポジションを決定する。また、再スタートできない車両のグリッドはそのまま空席とする。

【レースの終了】

第1項 レースの終了

先頭の車両にチェッカーフラッグが掲示された後、引き続き後続車両にも特別規則書に示す時間に掲示される。この時間が経過した時をもってレース終了となる。

1. ファイナルラップにフィニッシュライン手前でトップの車両のすぐ前に他の車両がいる場合、スタート・フィニッシュマーシャルは同時にチェッカーと青旗を掲示する。これはトップを走行する車両はレースを終了するが、そのすぐ前を走行する車両はファイナルラップを走しチェッカーフラッグを受けなければならないことを意味する。

2. 先頭を走行する車両が、所定の周回数を完了する前にレース終了の合図が出された場合、当該レースはその時点で終了したものとみなされる。また、何らかの理由によってレース終了の合図が遅れた場合は、レースが本来終了する時点で終了したものとみなされる。

第2項 優勝者

優勝者は規定の距離(周回数)または時間を最初にチェッカーフラッグを受けてフィニッシュライン(コントロールライン)を通過した車両とする。

第3項 順位の優先順位

優先順位は、チェッカーを受けた完走車の中から周回数の多い順に決定される。同周回数の場合はフィニッシュライン通過順位による。チェッカーフラッグを受けなかった完走車を周回数の多い順に決定される。同周回数の場合はフィニッシュラインの通過順位による。

第4項 完走者

各クラス優勝車の周回数の70%(小数点以下切り捨て)以上を走行した車両とする。

第5項 得点

得点(ポイント)は決勝レースの完走周回数を満たした車両にのみ与えられる。

【レース大会日程】

第1戦 2020年5月30日(土) 公式予選、決勝レース

袖ヶ浦フォレストレースウェイ(千葉県)

第2戦 2020年6月21日(日) 公式予選、決勝レース

筑波サーキット(茨城県)

第3戦 2020年7月5日(日) 公式予選、決勝レース

スポーツランドSUGO(宮城県)

第4戦 2020年8月9日(日) 公式予選、決勝レース

筑波サーキット(茨城県)

第5戦 2020年9月12日(土) 公式予選、決勝レース

袖ヶ浦フォレストレースウェイ(千葉県)

第6戦 2020年10月4日(日) 公式予選、決勝レース

筑波サーキット(茨城県)

第7戦 2020年11月14日(土) 公式予選、決勝レース

富士スピードウェイ(静岡県)

【参加申込期間と参加料】

第1戦の申込期間と参加料

5月30日(土) 開催場所/袖ヶ浦フォレストレースウェイ
ECOエントリー: 2020年4月20日(月)～24日(土) ¥55,000(税込)

第2戦の申込期間と参加料

6月21日(日) 開催場所/筑波サーキット
ECOエントリー: 2020年5月11日(月)～15日(土) ¥55,000(税込)

第3戦の申込期間と参加料

7月5日(日) 開催場所/スポーツランドSUGO
ECOエントリー: 2020年5月25日(月)～30日(土) ¥55,000(税込)

第4戦の申込期間と参加料

8月9日(日) 開催場所/筑波サーキット
ECOエントリー: 2020年6月22日(月)～27日(土) ¥55,000(税込)

第5戦の申込期間と参加料

9月12日(土) 開催場所/袖ヶ浦フォレストレースウェイ
ECOエントリー: 2020年8月3日(月)～8日(土) ¥55,000(税込)

第6戦の申込期間と参加料

10月4日(日) 開催場所/筑波サーキット
ECOエントリー: 2020年8月24日(月)～29日(土) ¥55,000(税込)

第7戦の申込期間と参加料

11月14日(土) 開催場所/富士スピードウェイ
ECOエントリー: 2020年10月5日(月)～10日(土) ¥55,000(税込)

※参加申込日は、参加申込書類と参加料の両方が確認(到着)した日にちとする。

※充電設備の使用を希望する場合は、充電設備使用料(11,000円/税込)を参加受付時に徴収する。

【周回数(距離) および出走台数】

第1戦 袖ヶ浦 21周(50Km) 30台

第2戦 筑波 25周(50Km) 30台

第3戦 SUGO 14周(50Km) 40台

第4戦 筑波 27周(55Km) 30台

第5戦 袖ヶ浦 23周(55Km) 40台

第6戦 筑波 30周(60Km) 30台

第7戦 富士 11周(50Km) 30台

【賞典および賞典の制限】

第1項 賞典の授与(各クラスに与える)

1位 / 2位 / 3位

第2項 メダルの授与(各クラスに与える)

第2条 賞典の制限

第1項 各クラスの参加台数による賞典の制限

3台/1位のみ 4～5台/2位まで 6台～/3位まで

【ポイントおよびポイントの制限】

第1条 総合および各クラスの獲得ポイントにより年間のチャンピオンを決定する

第1項

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
ポイント	20	15	12	10	8	6	4	3	2	1

第2項 各クラス参加台数によるポイントの制限

参加台数に関わらず、各クラスの完走車両に全ポイントを与える。

第3項 最終順位の決定

獲得ポイントの多い順に順位を決定するが、獲得ポイントが同点の場合は優勝回数の多い順/2位以下も同等とするが、それでも同点の場合は最終戦の順位が上位者を優先とする。

【年間賞典】

1. 年間賞典の授与は、各クラスのチャンピオンに与えるが、各クラスのシリーズ成立参加台数が2台以上の場合に限る。

第2項 年間賞典は大会数の80%以上(小数点以下四捨五入)に参加者したものに与える。

TSUKUBA CIRCUIT MAP

安全で環境にやさしい筑波サーキットには

個性豊かなコースがいっぱい!

日本有数の「超テクニカルなレイアウト」と呼ばれるコース2000、

あらゆるマシンに対応し、走りこたえのあるコース1000、

人気のジムカーナ場や、オートレース選手養成用のオーバルコースなど、
走るのももちろん、観るのも楽しいサーキットです。

観戦ポイントを移動して、白熱のレースを満喫しよう!

首都圏からも好アクセス!





限界を楽しめ。

Into The Zone

あきらめることはしない。妥協することもない。私の走りには、高揚と挑戦という私だけの楽しみがある。

競うのではなく、自らの心に挑む。

思い描いていた境界や限界が、溶解していく。そのとき、走る喜びが、全身を駆け抜ける。

スポーティーなドライビングを愛する者だけが知る、至福のとき。

POTENZA。その走りはいま、新しいスポーツの世界を拓く。

POTENZA

さらなる高みに到達した、
プレミアムPOTENZA

POTENZA
S007A



幅広い車種に対応する、
スタイリッシュPOTENZA

POTENZA
Adrenalin **RE004**



最速へのこだわりが生んだ、
リアル・スポーツPOTENZA

POTENZA
RE-71RS



ラップタイム短縮を追求した、
リアル・スポーツPOTENZA

POTENZA
RE-12D
RE-12D TYPE A



ラップタイム短縮を追求した、
ハイグリップスポーツタイヤ

POTENZA
RE-07D



株式会社ブリヂストン

【お客様相談室】フリーダイヤル0120-39-2936

受付時間：月～金（土日・祝日および指定休日は除く）9：00～17：00 www.bridgestone.co.jp

BRIDGESTONE

あなたと、つぎの景色へ